街路の整備による効果

活力

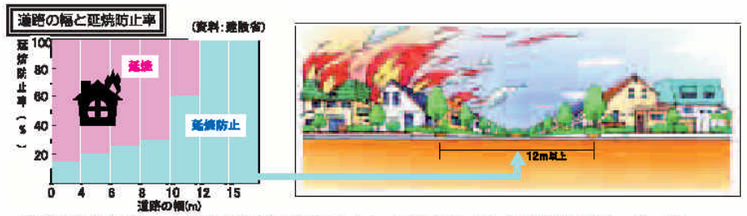
都市計画道路の整備により、多様な交通需要に対応し、東京の持続的な発展を支えます

安全

阪神大震災に見る延焼遮断効果

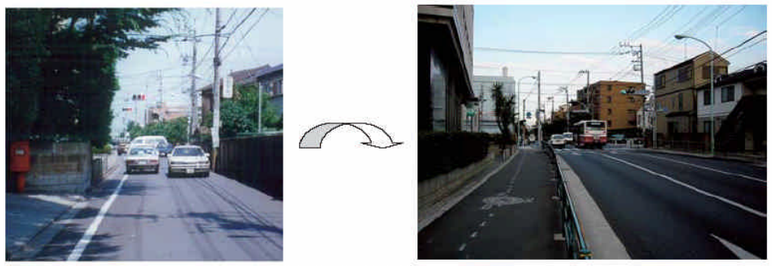
平成７年（１９９５年）１月１７日に発生した阪神大震災では、幅員の広い道路が火災時の延焼防止に大きな効果を上げています。（下図参照）

阪神大震災の教訓を生かして、公園や緑地の確保だけでなく広幅員の道路整備による防災都市づくりを進めています。



道路整備により延焼遮断帯としての効果が発揮されます

暮らし



道路整備により安全な歩行空間が形成されます

環境

道路整備にあわせ電線の地中化・街路樹の整備が図られ都市景観が改善されます

資料10－4

外環の地上部の街路について

外環につきましては、高速道路にあわせ、地上部に「外環ノ2」「附属街路」という街路が都市計画決定されています。

これまで、「東京外かく環状道路(関越道～東名高速)の計画のたたき台<平成13年4月>」や「東京外かく環状道路(関越道～東名高速)に関する方針<平成15年3月>」を作成し、様々な場で意見を聴いてまいりました。

外環の検討を進めるにあたっては、同じ位置に都市計画決定されている地上部街路についても、基本的な考え方を示し、地域の皆さんの意見を聴きながら検討する必要があります。

東京都では、改めて現在の都市計画の内容を地域の皆さんにお示しし、高速道路の外環を地下化した場合の地上部の取扱いについて、今後、皆さんの意見を聴きながら具体的な検討を進めてまいります。

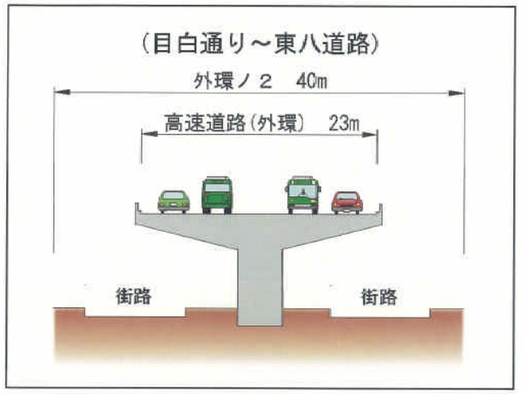
平成17年1月

東京都　都市整備局

お問合せ先
東京都 都市整備局
都市基盤部 外かく環状道路担当
〒163-8001　東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL 03-5388-3279(直通)／FAX 03-5388-1354
e-mail　S0000179@section.metro.tokyo.jp

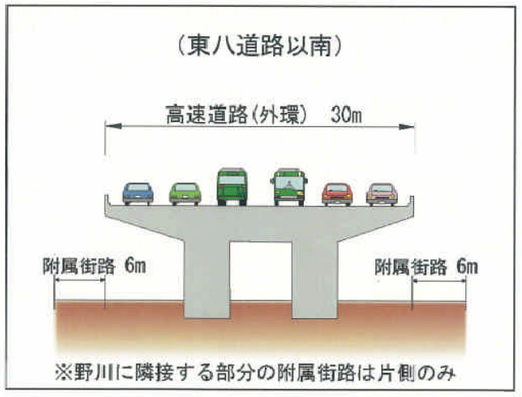
現在の地上部街路の都市計画

■「外環ノ2」の都市計画



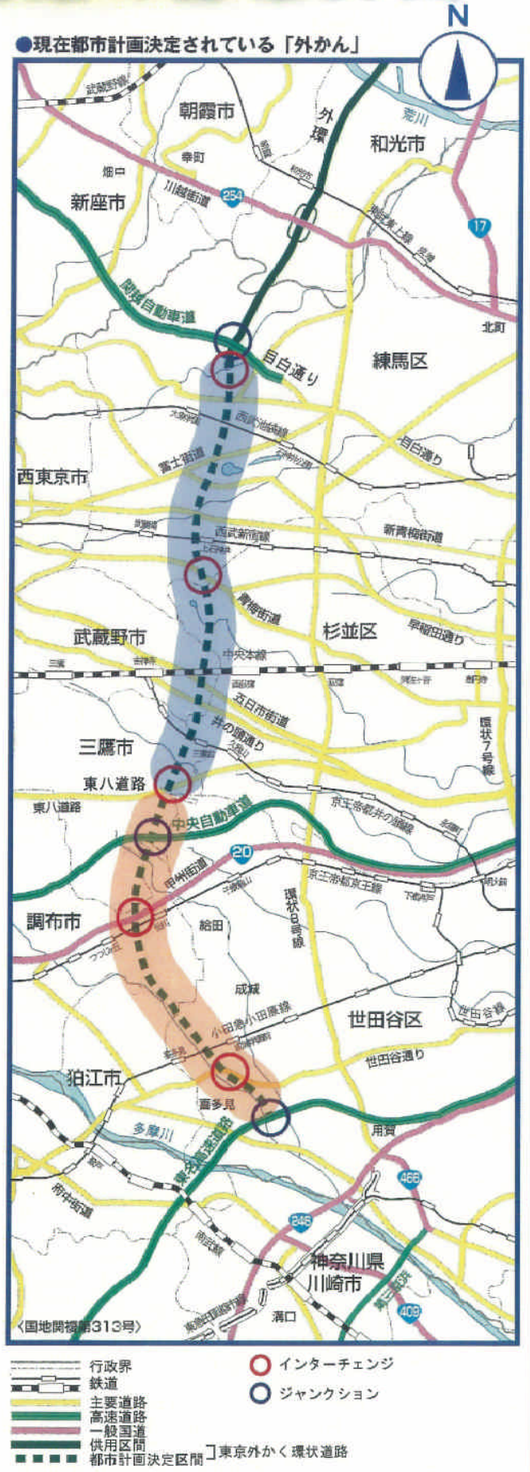
高速道路の外環にあわせ、都内の都市計画道路ネットワークの一部として「外環ノ２」が都市計画決定されています。

■「附属街路」の都市計画



高速道路沿いにお住まいの方の出入りを確保するため、「附属街路」が都市計画決定されています。

●現在都市計画決定されている「外かん」



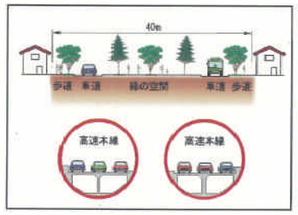
高速道路の外環を地下化した場合の地上部の取扱いについて

■「外環ノ2」

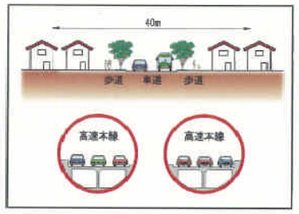
●基本的な考え方

高速道路の外環を地下化しても、地上部に都市計画決定された「外環ノ２」の計画は残るため、今後、「外環ノ２」の取扱いについて検討する必要があります。

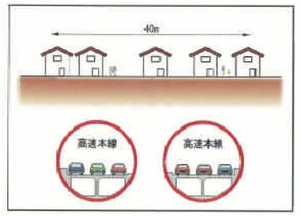
●今後の検討



現在の都市計画の区域を活用して道路と緑地を整備



都市計画の区域を縮小して車道と歩道を整備



代替機能を確保して「外環ノ２」の都市計画を廃止

■「附属街路」

●基本的な考え方

・高速道路の外環の地下化に伴い、附属街路は機能として不要なため原則廃止となります。

・ジャンクション・インターチェンジ部など地上に道路構造物ができる場所では、宅地からの出入を確保するため道路を配置します。

●今後の検討

・高速道路の地下化、附属街路の廃止を受け、まちづくりの視点から地上部の取扱いについて検討する必要があります。

今後、皆さんの意見を聴きながら具体的な検討を進めてまいります。